

京都×群馬 新春スペシャル 室内楽コンサート

～京都市交響楽団・群馬交響楽団メンバーによる～



フルート/中川 佳子
(京都市交響楽団副首席奏者)



オーボエ/高山 郁子
(京都市交響楽団首席奏者)



クラリネット/筒井 祥夫
(京都市交響楽団副首席奏者)



ファゴット/村中 宏
(京都市交響楽団)



ホルン/水無瀬 一成
(京都市交響楽団副首席奏者)



トランペット/稲垣 路子
(京都市交響楽団副首席奏者)



トロンボーン/戸澤 淳
(京都市交響楽団)



トロンボーン/岡本 哲
(京都市交響楽団首席奏者)



バストロンボーン/石原 左近
(群馬交響楽団)



チェロ/佐藤 禎
(京都市交響楽団)

【プログラム】

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:
金管楽器のための三重奏曲 作品87(Hr,Tp,Tb)
Ludwig van Beethoven: Trio for Brass Instruments Opus87 (Hr,Tp,Tb)

ジャン=ミシェル・ダマーズ:
17の変奏曲 作品22(木管五重奏)
Jean-Michel Damase: 17 Variations Opus22 (Wind Quintet)

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:
3本のトロンボーンのための組曲(3Tb)
Georg Friedrich Händel: Suite for Three Trombones (3Tb)

ヨーゼフ・ハイドン:
2本のフルートとチェロのためのロンドン・トリオ
Hob.IV:1より第一番(Fl,Ob,Vc)
Josef Haydn: No. 1 from London Trio for 2Flutes and Violoncello Hob.IV:1 (Fl,Ob,Vc)

イーゴリ・ストラヴィンスキー:
バレエ音楽「プルチネルラ」より《編曲:佐藤 禎》
Igor Stravinsky: Excerpts from 「Purcellina」(Arr. Tadashi Sato)

2008年4月、私が群馬から京都市交響楽団の音楽主幹に就任した時の仕事の一つにオーディション所謂採用試験であった。オーケストラの所在は、地域にあってもその楽員の出身は、ワールドワイドである。群馬県出身の音楽家が受験する度にその幸運を祈った。そして、その幸運がなかった時は嬉しかった。それは、今思えばおこすと、望郷だったかもしれない。今回の主役戸澤淳は、群馬県で生まれ、農大二高から武蔵野音楽大学で学んだ。今や農大二高の吹奏楽部は、全国的に名をとどろかせている。その指導者は、群馬の故郷井正之だった。戸澤の師の一人は、群馬の市村信持である。その後数々経験を積み兵庫芸術文化センター管弦楽団を経て、現在京都市交響楽団楽団員の在籍している。今回その戸澤が、京響の仲間を引き連れて、群馬の仲間との群馬への凱旋公演である。これほど嬉しいことはない。群馬と京都は不思議な縁で結ばれている。私は、群馬、京響の事務局で働き、それぞれのオーケストラに愛着を持っている。12月28日の京響のメンバー二人が在籍する関西弦楽四重奏団の演奏会を企画し、そしてこの演奏会も携わる幸運に恵まれた。私にとって、愛着のある、京都市交響楽団を高崎芸術劇場に招きたいと思っている。今回の演奏会はその一歩である。1962年12月3日、群馬音楽センターで行われた「京都・札幌・高崎三市交響楽団特別演奏会」で、京都市交響楽団がカウフマン指揮、チャイコフスキーの「悲愴」を演奏してから還暦の60年が経つ。ぜひとも高崎芸術劇場で京都市交響楽団高崎公演を実現に向けて邁進したい。

(株)空間あい 新井 淳

2022年1月4日(火) 16:00開演(15:30開場)

高崎芸術劇場 音楽ホール 〒370-0841 高崎市栄町9-1 TEL.027-321-7300 《JR高崎駅東口から徒歩5分》

一般 2,500円 学生 1,000円 (当日一般 3,000円 学生 1,500円)

プレイガイド
■ 高崎芸術劇場2F チケットカウンター
TEL.027-321-3900(10:00~18:00)
■ 株式会社 空間あい 090-1815-4608 info@kuukanai.com
ゆうちょ銀行 振替口座 00280-2-141735 カ)クウカンアイ
※上記にご送金いただければチケットを送付します。 WEBサイトからも購入できます▶



■ 窓口販売(8:30~17:15)
・群馬音楽センター(月休)
・高崎市文化会館(月休)
・高崎シティギャラリー
・箕郷文化会館(月・火休)
・新町文化ホール(月・火休)
・榛名文化会館エコール(月・火休)
・吉井文化会館(月・火休)
・高崎市倉渕支所地域振興課(土・日・祝休)
・高崎市群馬支所地域振興課(土・日・祝休)

写真:京都鴨川